エルサレムの城壁

ルーベンス「キリストのエルサレム入城」

ヨハネによる福音書 12 章 12～19 節

「エルサレム入城」

茂 洋
しげる ひろし
1930 年～
神戸女学院大学で教える
日本キリスト教団仁川教会で牧師
も務める

イエスのエルサレム入場の真の意味を人々は理解していませんでした。ルカによる福音書によれば、ここでイエスは涙を流して泣かれました（ルカ 19：41）。ゲッセマネの園のすぐ上のところに、「イエス涙流し給う」という名の教会堂がありました。周りの群衆の王歓迎という華やかさに比べて、イエスが示そうとされている王の意味は、驚くほど静かで謙虚なものでした。・・・イエスはここで全くの孤独でした。彼は孤独のまま、死に至る道を歩んでゆかれました。

愛と憎しみとは紙一重で、コインの裏表のようなもの？

弟子たちは初めには・・・悟らなかったが、
イエスが栄光を受けられた時に・・・思い起こした。
（ヨハネによる福音書 12 章 16 節。口語訳）

エフライム→エリコ→ベタニア→エルサレム

枯松神社祭

シャルル・ペギー

1873〜1914 年

フランスの詩人、思想家

カトリックの信仰者

神が先手を打たれたのです。

イエスはよみがえって、ここにはおられない。

・・・イエスはあなたがたより先にガリラヤへ行かれる。

・・・そこでお会いできるであろう。

（マルコによる福音書 16 章 6〜7 節。口語訳）

アーメン、主の御先立ち

主イエスの「十字架の道行き」

① 死刑の宣告を受ける

② 十字架を負わされる

③ 十字架にくずおれる

④ 悲しみの母に会う

⑤ シモンが十字架を負う

⑥ ヴェロニカが顔を拭う

⑦ 再び くずおれる

⑧ 女性たちを慰める

⑨ 三たび くずおれる

⑩ 衣服を剥がされる

⑪ 十字架につけられる

⑫ 息をひきとる

⑬ 十字架から降ろされる

⑭ 葬られる

（イエスのカリタス修道女会牧野修道院：長崎市新牧野町）

清水 恵三

しみず けいぞう

1931～87 年

日本キリスト教団牧師

農村伝道神学校の教師、校長

代理も務める

感謝の思いがぞくぞくと湧いて来ます。・・・何かしたくなって来ます。